

2020 年 11 月 21-22 日 柏原新道～鹿島槍ヶ岳

参加メンバー：L 谷内、若奈、野中

赤岩尾根より鹿島槍ヶ岳を目指す計画で大台ヶ原登山口へ向かったが、予報通り雨が上がり、柏原新道からの入山に切り替えて鹿島槍ヶ岳まで行ってきた。

[1 日目] 雪のち晴れ

大町方面は 10 時頃まで雨予報であるため、7 時集合と集合時間を遅くし、ひとまず大台ヶ原へ向かう。8 時 20 分に大台ヶ原へ到着するものの、予報通り雨が降っている。この時点で、駐車場には 3 台の車があり、いずれも車内で待機している様子。しばらく我々も車内で待機するが、雨脚が弱まる気配がなく、サブ案である柏原新道からの入山に決めて、移動。

柏原新道は標高が 1350m と高いためか、細かい雪が降り注いでいた。三連休ではあるが駐車場はまだ余裕があり、ほとんどの方が日帰り登山者だった。雪が止むのを待った後、出発。気温は高く、とてもハードシェルは着てられない、すぐに快晴となった。標高 1780m くらいから登山道に雪が出始める。概ね 5～10cm くらいの新雪だった。柏原新道のトラバースは、積雪により幅が狭くなっており、通れなくなるのも近い。雪崩が危惧されるのも納得出来た。日帰り登山者達とすれ違いながら緩やかに登り上げ、14 時前に種池山荘に到着。先着のテントは 1 張りのみ。小屋の前にテントを構え、山々を眺めながらのんびり過ごすことが出来た。

[2 日目] 晴れ

2 時半に起床。それほど冷えなかった。シュウマイ入りお雑煮を食べ、やや風がある中、4 時に出発。爺ヶ岳に先行者が見える。雪も少なく、しっかりとトレースが付いているため、1 時間半ほどで冷池小屋に到着。冷池小屋には 5 張りのテントがあり、鹿島槍ヶ岳に向けて準備している人達がいた。途中、布引山の手前で冬毛に生え変わった雷鳥に遭遇。谷内さんから、雷鳥は冬場、雪に穴を掘って生活していると聞いて、なるほどと思った。まん丸となんとも愛らしかった。布引山を越え、鹿島槍ヶ岳の山頂直下のみ夏道が不明瞭であったが、ガレガレな岩場を超えて、山頂到着。山頂には、なんと知り合いが居て驚いた。いつか登りたいと思っている東尾根を上から眺め、期待に胸が膨らむ。帰りは、山頂直下を過ぎてすぐにアイゼンを外したため、快適に下ることが出来た。赤岩尾根分岐にて、赤岩尾根から登ってきたパーティーに遭遇。前日は高千穂平に幕営したそう。帰路の爺ヶ岳は非常に大きく、登り返しがきつかった。日帰り登山者で賑わう爺ヶ岳南峰を横目に、種池小屋へ足早に向かう。テント撤収後、高い気温によってグチャグチャになった柏原新道を下り、駐車場に到着した。

[コースタイム]

1 日目：柏原新道登山口(10:00 発)－ 種池小屋(13:50 着、幕営)

2 日目：種池小屋(3:50 発)－ 冷池小屋(5:35)－ 鹿島槍ヶ岳山頂(7:50)－ 冷池小屋(9:25)－ 種池小屋(11:10 着→11:40 発、大休止+テント撤収)－ 柏原新道登山口(13:35 着)



① 柏原新道のトラバース



②種池小屋に幕営



② 冬毛の雷鳥



③朝日が当たる剣岳



⑤鹿島槍ヶ岳山頂



⑥帰路